

人権学習展開例

- 主題名 共生社会の実現に向けて
- 教材名 高齢者と共に生きるために
- 人権学習の視点 個別的な視点「高齢者の人権」
- 主題・教材について

わが国の高齢化率(総人口に占める65歳以上人口の割合)は平成29年10月現在、27.7%であり、すでに超高齢社会となっている。加齢に伴う判断能力の低下や身体機能の減退等の高齢者の弱みにつけ込んだ特殊詐欺被害や虐待被害が多数発生しており、これらの課題を解決するために、高齢者の人権問題を身近なものとして捉え、高齢者の弱みを解消するための方策や必要な態度について考えさせたい。

●ねらい

高齢者の置かれている立場を理解し、特殊詐欺や虐待などの高齢者の弱みにつけ込んだ犯罪の解決や未然防止に向けて自分たちに何ができるのかを具体的に考えさせ、行動に繋げる。

●関連する教材

人権学習資料集<高等学校編> 「10 共生社会の実現をめざして」
人権学習資料集<中学校編> 「16 年輪」

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	<p>○「高齢者」の定義を考えさせる。</p> <p>○本時の学習課題を知らせる。</p>	個別	○「高齢者」は何歳以上のことを指すか考える。	<p>○一般的には65歳以上である。このことを伝える際、以下を伝え、定義が統一されているわけではないことにも触れる。</p> <p>【高齢者の定義】 WHO…65歳以上 公的年金の受給資格…65歳 道路交通法…70歳以上 高齢者の医療の確保に関する法律…75歳以上</p>	提示資料 プロジェクト

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開	「高齢者」のイメージを考えよう				
	○高齢者のイメージをワークシートに書かせることで、高齢者に対する自身の考えに気付かせる。 ○マイナスのイメージにチェックさせる。	個別のちグループ	○ワークシートの(1)に書き込む ○ワークシートの(1)にチェックする。	○思いつくまま書き出し、質よりも量を重視するよう促す。 ○連想する言葉が出にくくなってきた場合、「高齢者の気持ち」など、「高齢者」の後ろに言葉を付けて連想するよう促す。 ○高齢者に関してマイナスのイメージを連想したものについて理由も考えさせる。	ワークシート
	高齢者の弱みを解消するために必要なことを考えよう				
	○高齢者の弱みについて考えさせる。 ○高齢者の弱みを解消するためになにが必要かを考えさせる。 ○「自分」→「社会」と視野を広げるように促す。	個別のちグループ	○ワークシートの(2)に記入し、意見を共有する。 ○ワークシートの(3)に記入する。 ○ワークシートの(4)に記入する。	○個別に考えた後に、グループで、できるだけたくさん出すように、適宜ヒントを与える。 (例)健康への不安 社会とのつながりの脆弱さ 介護問題 虐待 特殊詐欺などの犯罪被害等 ○困っている高齢者を支援するにはどうすればよいかを考えさせる。 ○身近な高齢者に対して「自分が」どのような態度を取れるかを考える生徒が多いことが予想される。「社会に求められている取組」まで考えさせる。	
まとめ	○「高齢者と関わること」が「高齢者の弱み」の解消や犯罪防止にもつながることをおさえる。	個別	○本時の学習を振り返る。 ○府立高校の取組の様子を紹介する。	○高齢者の弱みだけに注目するのではなく、強みを持ち社会に貢献する存在でもあることにも目を向けさせる。	

●評価

高齢者の置かれている立場を理解し、特殊詐欺や虐待などの高齢者の弱みにつけ込んだ犯罪の解決や未然防止に向けて自分たちに何ができるのかを具体的に考え、行動に繋げようとしているか。